

令和4年度第2回大野城市上下水道事業運営審議会 会議録	
日 時	令和5年3月29日(水) 13:30~15:00
開催場所	市役所4階 全員協議会室
出席者	審議会委員：広城会長、河波副会長、小原委員、斧田委員、釘崎委員、田口委員 以上6名 上下水道局：松竹上下水道局長、松岡企業総務課長、今田料金施設課長、 川畑上下水道工務課長、他8名(係長、担当) 以上12名
欠席者	高原委員 以上1名
傍聴者	なし
議 事	<ul style="list-style-type: none"> ・第3次中期経営計画の検証報告について (資料①~③、別紙①・②) ・第4次中期経営計画骨子(案)について (資料④)
配布資料	次第 委員名簿 【資料①】大野城市上下水道事業第3次中期経営計画検証結果一覧表 【資料②】大野城市上下水道事業第3次中期経営計画検証報告書 【資料③】水道事業の推移・下水道事業の推移 【資料④】大野城市上下水道事業第4次中期経営計画骨子(案) 【別紙①】主要施策④水道施設の災害対策 【別紙②】主要施策⑩次世代自動車の導入

議

事

◇令和4年度第2回大野城市上下水道事業運営審議会

1. 開会あいさつ
2. 副会長選出
3. 副会長あいさつ

【議事】

4. 第3次中期経営計画の検証報告について

(資料①～③)

各主要施策22項目について、主要施策の順番に担当係長が説明。

○質疑

(委員) 主要施策⑥水道管の適正な維持管理について。具体的な取り組みの人口衛星やAIを活用した新しい維持管理手法とはどういったものなのか。

(市) 人工衛星を用いた漏水探知は、愛知県豊田市で現在進められているところです。水道水には必ず塩素が入っていて、電磁波を照射したときに塩素は特殊な反射反応を示しますので、人工衛星からその反射する電磁波をキャッチして、漏水箇所の絞り込みを行うというもので、今全国で普及しつつあります。AIについてですが、漏水には一定のパターンがあります。管種、管の材質また埋設している箇所によって漏水しやすい箇所がありますので、AIを用いて、漏水の可能性が高いところ、低いところを分析し、そこを集中的に調査します。大野城市では4年で全箇所を一周するようにマンパワーで聴診器のような装置を使って路面で漏水を感知する作業を行っています。最終的には人の手を借りるのですが、AIや人工衛星を使って絞り込みができるので、効率的に作業ができるようになります。

(委員) 主要施策②小規模貯水槽水道の衛生管理指導について。小規模貯水槽とはマンションに設置してあるもののことか。また、何年に一度検査をして提出することになっているのか。

(市) 委員のおっしゃるとおり、アパートやマンションなど3階以上の建物に設置している貯水槽のことです。市の規定で、年に1回以上の清掃と水質検査を実施していただくことになっています。

(委員) 検査受検率50%は低いように感じられる。

(市) 小規模貯水槽については、年1回以上の清掃と水質検査実施は努力義務となっています。また、実績値50%は、市への報告で提出された書類に不足や不備がなかったものだけを集計した値となっています。

水道事業者として設置者に対し適正な管理の履行を求めるなど適

切な関与を行う必要があることから、次期計画の目標については今回のご意見を踏まえ改めて設定したいと思います。

(委員) 主要施策⑩雨水整備事業について。浸水対策箇所9箇所というのは、市内で浸水対策が必要な箇所すべての整備が完了したという意味なのか。

(市) 雨水管理総合管理計画で20年間の計画を立てておきまして、最初の5年間で早期的に効果が発現するものとして、御笠川左岸9箇所の整備が完了したというものです。今後は、御笠川右岸の整備を行います。

早期対策箇所9箇所というのが分かるような記載に見直しします。

(委員) 主要施策⑧事業場排水の指導について。目標値の閉塞事故件数3件というのは、過去何年かの平均なのか。また、目標値より見込値のほうが少ないのに、S評価になるのはどうしてか。

(市) 以前はもう少し件数が多かったのですが、それを減らしていくために、3件という目標を設定しました。また、閉塞事故件数が減れば成果が上がることになり、目標値より見込値のほうが少ないため、S評価としています。

(委員) 主要施策⑯情報提供の充実について。出前講座の実績を教えてください。

(市) 出前講座は小学校で令和元年度4回、令和4年度4回です。令和2・3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で実施ができない状況でした。ランドセルクラブ(放課後学習)は令和4年度から申し込みがっており、小学校3校で6回実施しております。

(委員) まどかフェスティバルで水道局の展示があってもよいのではないか。

(市) 検討させていただきます。

(委員) 主要施策⑱ICTの活用によるサービスの向上について。目標を方針決定ではなく、導入したことによる結果を具体的な数字で出せないか。

(市) 当初の取組内容は、スマートメーターの方針決定を目指しておりましたが、スマートメーターは費用がかかりすぎるのが早々に判明したため、詳細な検討は保留してスマホアプリ収納など他の取り組みを進めているところです。

施策内容として目標の設定が困難な内容ではありますが、次期計画

の目標設定においては今回の意見を踏まえて検討します。

(委員) 主要施策⑳連携・広域化の検討について。前回の検証報告書では、勉強会や意見交換を実施したが、方向性を見出すことができなかったためC評価となっている。今回は勉強会意見交換を実施したため、達成度A評価となっている。

(市) 令和元年度に水道法が改正され、水道の広域化が項目として挙がっています。それに基づいて、福岡県で水道広域化推進プランが先日策定されました。北九州地区や筑豊地区などでは、広域化の方向性と具体的なプランがいくつか挙がっています。しかし、福岡地区はまだ人口が伸びており、収入もある程度あるので、今後も継続して検討することが県の水道広域化推進プランの中でもうたわれているところです。勉強会の中で共通認識はされていますが、方向性は今のところ全くない状況です。

(委員) 主要施策㉑料金体系・加入金の研究について。3月22日に西日本新聞「比べる まちの姿」に近隣の水道料金等が掲載された。本市の一般家庭やマンションの水道加入金はいくらか。

(市) 一般家庭用13mmで消費税込み22万円です。50戸のマンションであれば、22万円×50戸(世帯数)です。以前は累進性がありましたが、平成25年に廃止しています。

続いて、財政状況について説明。

5. 第4次中期経営計画骨子(案)について

(資料④、別紙①・②)

第4次中期経営計画骨子(案)と今後の審議会スケジュールについて説明。

続いて、新規の2事業について担当係長が説明

○質疑

(委員) 新規事業の主要施策④水道施設の災害対策について。国から1/3の補助があり、2/3が市の負担ということか。

(市) そのとおりです。2/3については市の持ち出しとなり、起債を活用するなど、財政収支を踏まえて検討していきます。なお、令和5年度に実施設計を行いまして、工事の完了は令和7年度を目標に実施していきたいと考えています。

(委員) 浸水対策として、瓦田浄水場を囲ったとしても取水に影響はないのか。

(市) 瓦田浄水場は、表流水と井戸水を原水としています。その原水の取

水地点が町内に分散しておりますので、リスクの分散ができています。また最大の取水箇所である五区統合堰（春日公園の横）はハザードマップにかかっておらず、浸水しないと判断できるため、安全であると考えています。そのほかは複数箇所ある井戸を活用しながら、原水をまかなう予定です。

（委員）五区統合堰から一日どれくらい取水しているのか。

（市）現在、一日あたり 2100t 取水しています。牛頸浄水場は牛頸ダムから、一日あたり 4000t の取水しているのですが、今後、牛頸浄水場を廃止したあとには、その分の権利を五区統合堰に移す予定で、最終的には五区統合堰から一日当たり 6100t を取水する計画です。

【その他】

6. その他

事務連絡について説明。

7. 閉 会

松竹上下水道局長より閉会のあいさつ。

以 上